

第5講 地震が発生したときの対策

家の中にいるとき

まず、テーブルなどの下に隠れて、身を守ろう。火の始末はすみやかに。子供やお年寄りの安全を確保しよう。地震により停電したら、ブレーカーを切り、復旧後は電気器具の安全を十分に確認してからブレーカーを入れるようにしよう。



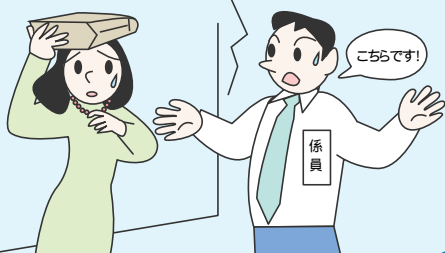
ビル街や商店街にいるとき

立ち止まらずに落下物に注意して、カバンなどで頭を守り、安全なところへ避難しよう。ビルの壁際や自動販売機には近寄らないように。



デパートやスーパーにいるとき

カバンなどで頭を保護し、ガラスや陳列棚から離れて、壁際や柱のそばに身を寄せる。係員の指示に従って避難しよう。

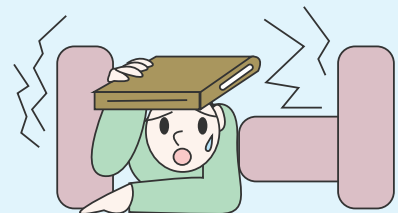


もしもの時は、落ち着いて行動することが大切じゃ。



映画館やホールにいるとき

イスの間にしゃがみ込み、カバンなどで頭を守ろう。あわてて出口へ殺到せずに、係員の指示に従って避難しよう。



電車やバスの中にいるとき

急停車することがあるので、吊革や手すりにしっかりつかまる。乗務員の指示に従って、落ち着いて行動しよう。



自動車を運転中 のとき

徐々に速度を落として道路左側に止める。緊急車両を優先させよう。車から離れる場合は、必ずキーをつけたまま、ドアもロックせずに。

